

地域包括支援センターとして取り 組んだ「地域課題」について ～つながりづくり～

令和6年2月1日

桑名市西部地域包括支援センター

「地域課題」

個別
ケース
から
課題
抽出

1. 孤独死
2. 認知症
3. 医療連携
4. ひきこもり
5. 運動習慣
6. 地域資源

アウトカム
(効果)を決め
て、プロセス
(過程)を検討

(仮説)
原因は地域
のつながり
が少ない

1. 孤独死

令和4年度までに孤独死のケースが複数発生

介護予防支援室

包括の課題では？

西部包括

- ・ 住民が遭遇する機会も多い
- ・ 講座を住民に周知し、その結果を市に報告する

効果

(目標)

地域住民の
孤独死対応力
をつける

「孤独死」検討したこと

孤独死について
調べる

- ・全国的な傾向
- ・西部包括でかわった孤独死のケースを分析

市内外の取り組みを調べる

- ・福岡市・さいたま市の取り組みを参考
- ・桑名市・地域の取り組み

住民に伝える内容を検討

- ・孤独死予防
- ・既存の資源
- ・発見時の対応
- ・ニーズをアンケートで確認

7月から
講座開始

「孤独死」 行ったこと



民生委員に講話×2

地域がいかに重要かわかった



サロンで講話×3

毎日人と接する機会を持つ



個人に講話×1

サロンに行ってみます

効果 (結果)

見つけた時の対応は参考になりましたか？



■ ①参考になった
■ ②参考にならなかった

介護予防 支援室と 共有

- ・ アンケート結果の報告
- ・ 西部包括が行うことを検討
- ・ 広報活動を検討

見つけた時の対応として手順書
(マニュアル) などがあると良い
ですか？



■ ①はい
■ ②いいえ

講座内容の一部です

今回は

「ならないために」と

「発見した時にどうするか」の

2つをテーマにお話しします



2つのテーマは、個人のみでなく、地域で取り組むにはどうしたら良いかを一緒に考えたいです

「ならないために」住民が予防できること

- ・家族・親族と連絡を取る
- ・民生委員や近隣の人と会ったら挨拶する
- ・病院に定期的に行き、治療をする
- ・身体機能を悪化させない
- ・民間サービスの活用
- ・必要な介護保険サービスの利用（高齢者住宅など）

「発見した時にどうするか」（参考）

- いつもとは違う異変に気付く（新聞や郵便物が溜まっている、夜電気がついていない、朝までついている、臭いなど）
- 親族の連絡先を知っていたら電話
- 連絡先を知らない場合は自治会長や近所の人、アパート管理会社に聞く
- 65才以上であれば包括支援センターで関わりがあるかもしれないので、親族の連絡先を聞く（※営業日のみ）
- 家の中に入る場合、事件性もあるので複数人で入る
- 施錠されている場合は、窓を割る等の行為が発生するため警察を呼ぶ
- 発見し、生死が分からない場合は救急車、明らかに死亡と分かる場合は警察を呼ぶ

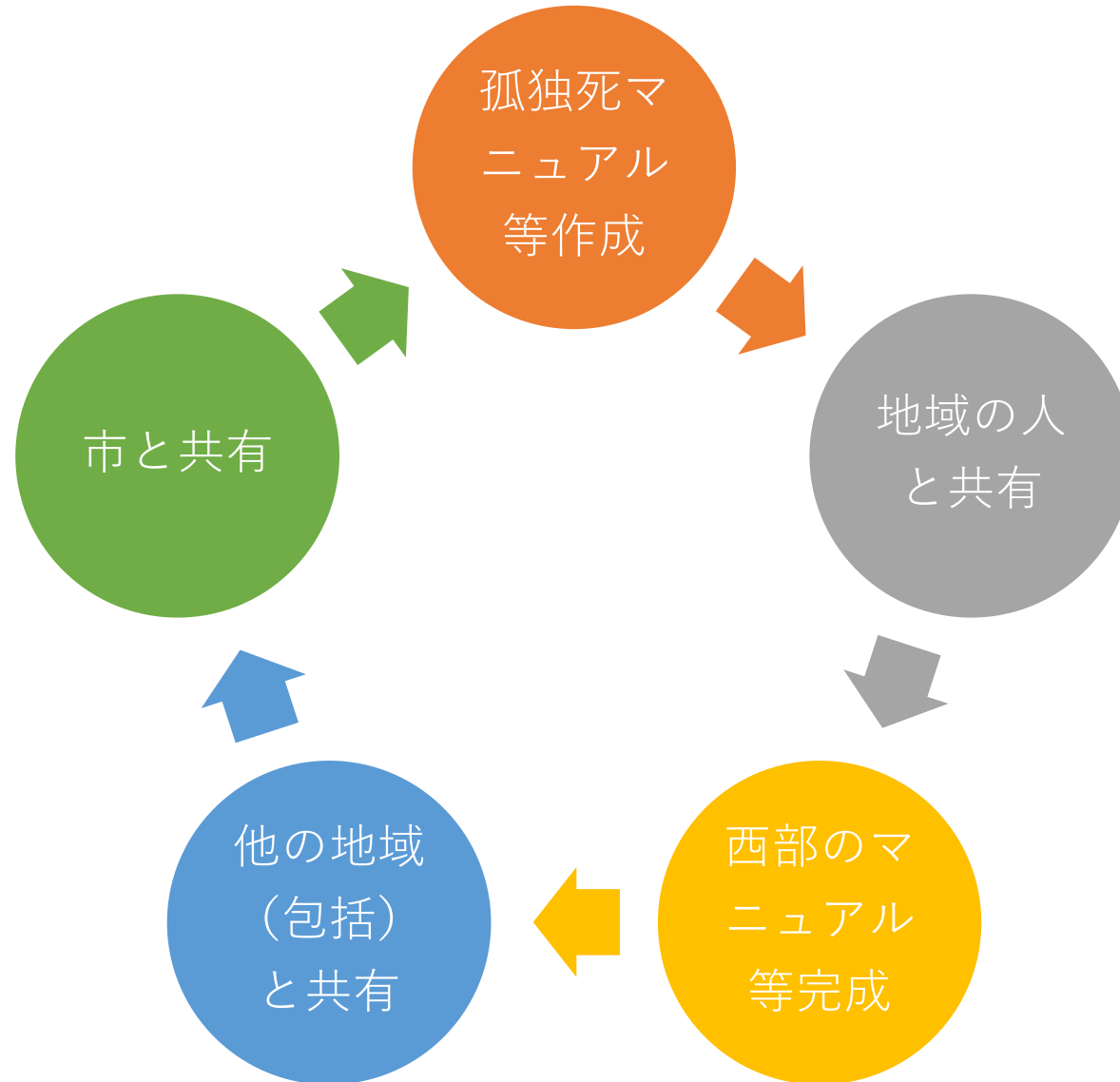
住民が孤独死に「ならないために」

互助

- ・声をかけあう（サロンに誘う）
- ・異変にすぐに気づくよう地域で見守る（散歩のついでなど）
- ・地域で対策をたてる



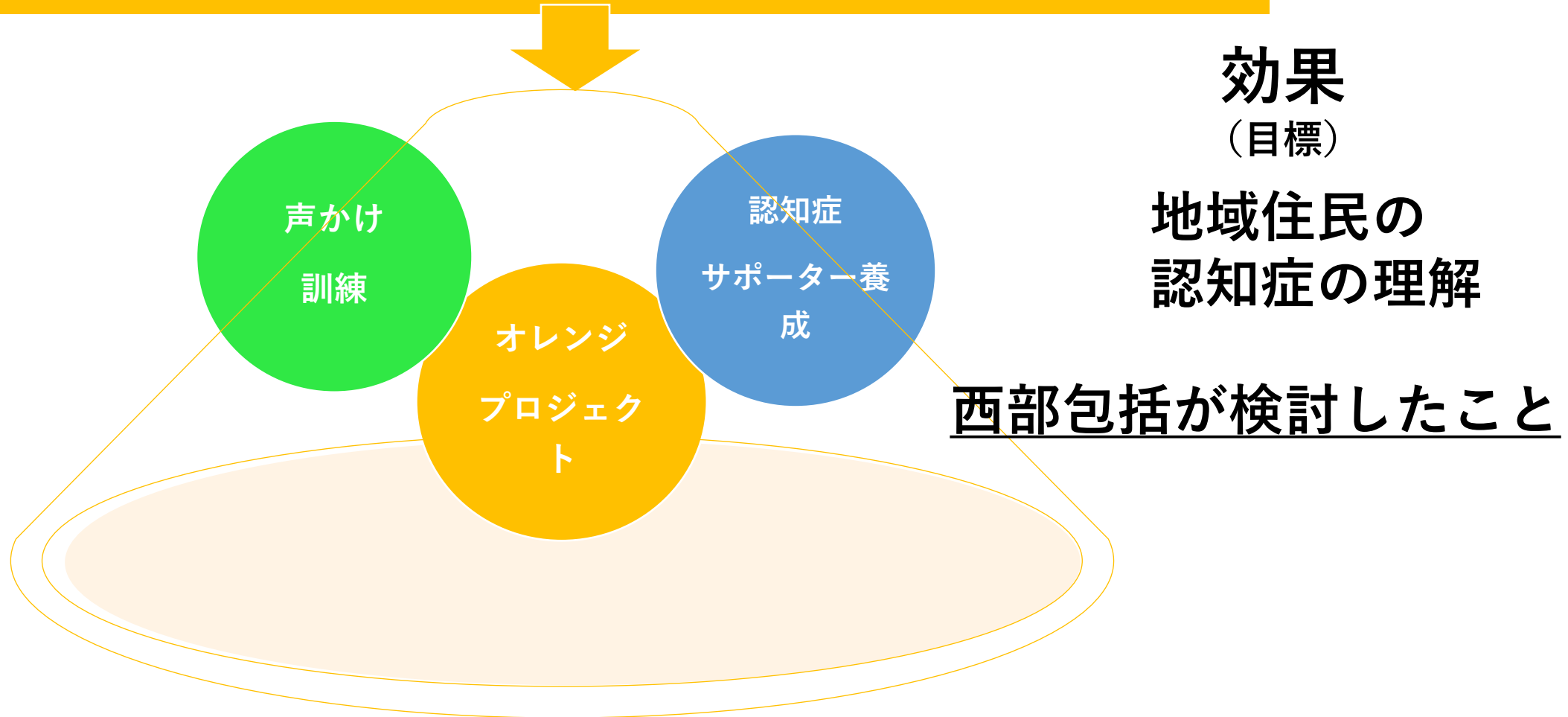
「孤独死」 これから行うこと



地域住民の
孤独死対応力
向上を目指して

2. 認知症

認知症の方が不審者に間違われる事態が発生



「認知症」行ったこと

- サロン × 2
- 自治会 × 2



- スーパー2か所
- サンシティ
 - やまひこ

認知症
声かけ訓練

オレンジ
プロジェクト
(認知症関連
の展示)

認知症
サポーター養
成講座

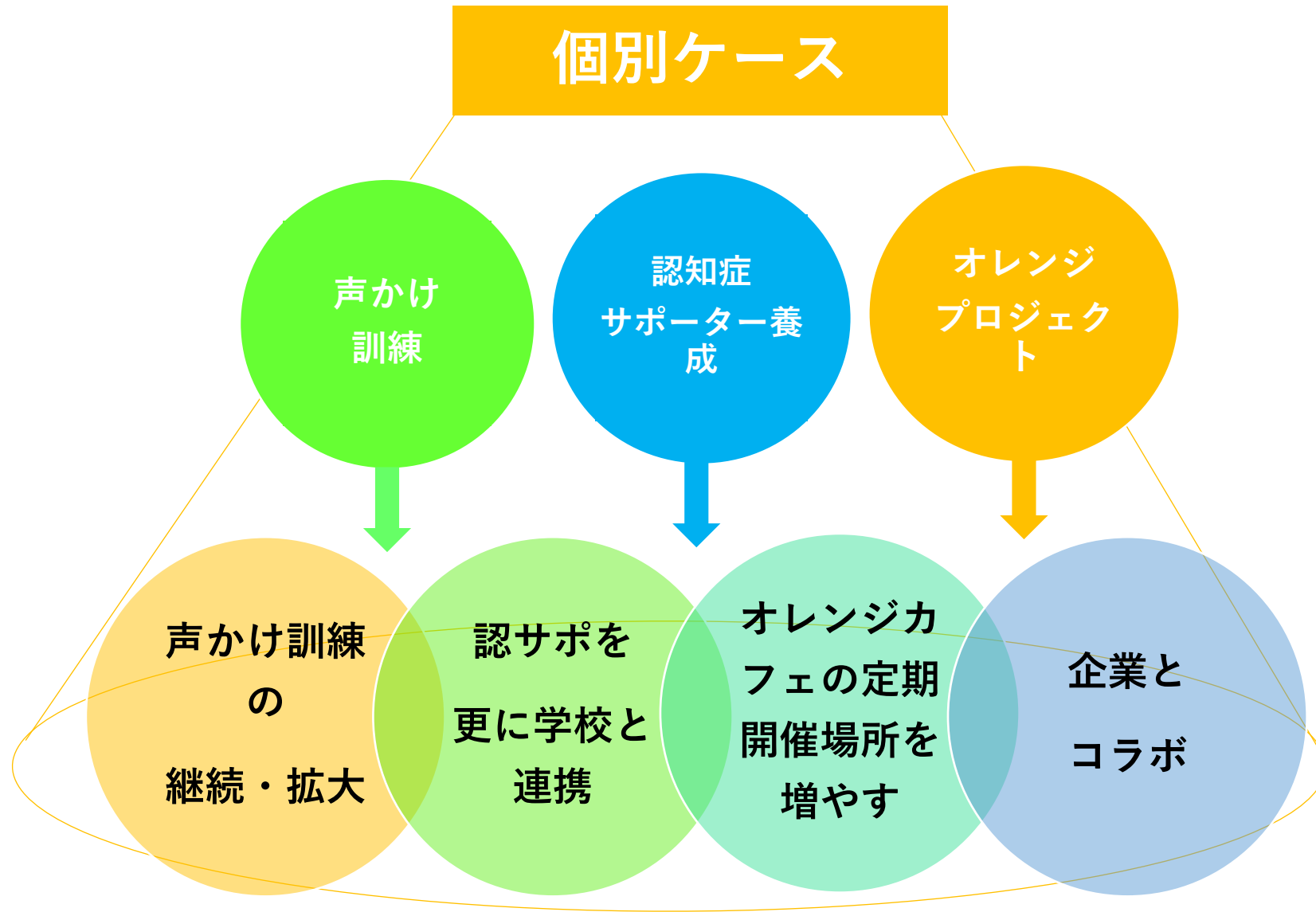
オレンジ
カフェ

- 学校 × 6
- 事業所 × 2
- 地域住民 × 3
- 民生委員 × 1



- 法人の協力 × 1
- 事業所と合同 × 1
- サロンの協力 × 2

「認知症」これから行うこと



効果
(結果)
開催増加

3. 医療連携

課題
1

相談人数の増加

課題
2

がんに関する相談が多い

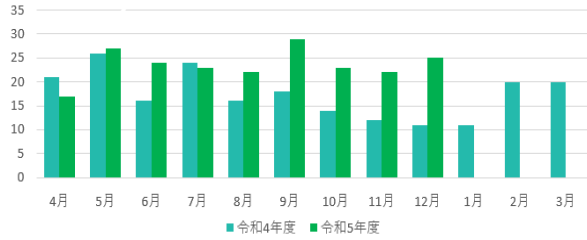
課題
3

認知症は周辺症状が起きてからの相談が多い

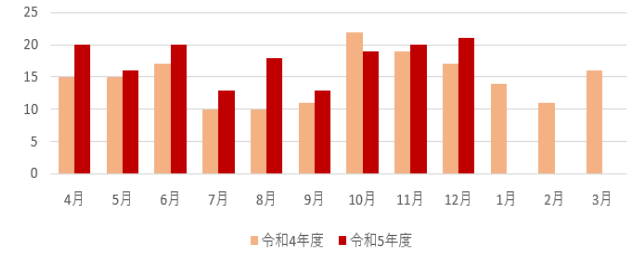
効果
(アウトカム)
**早期対応・
早期治療**

課題 1. 相談人数の増加

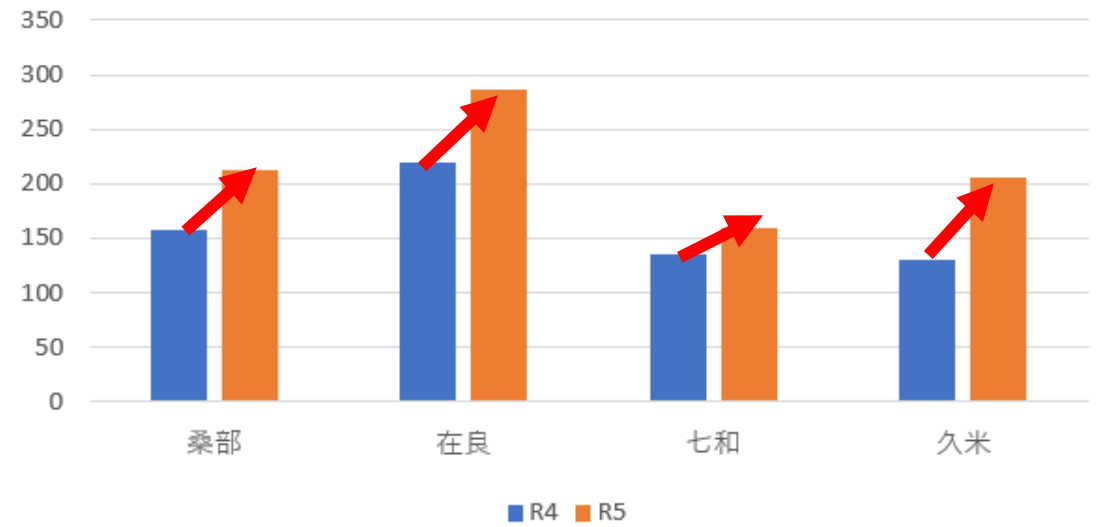
桑部年度別比較



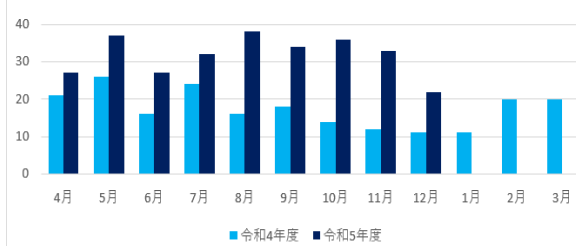
七和年度別比較



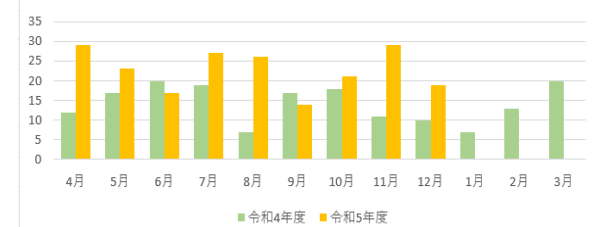
R4とR5相談人数 (4月～12月)



在良年度別比較



久米年度別比較

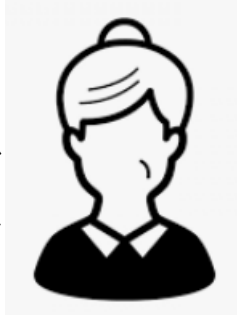


2. がんに関する相談が多い

がんで
抜け毛
が気にな
る



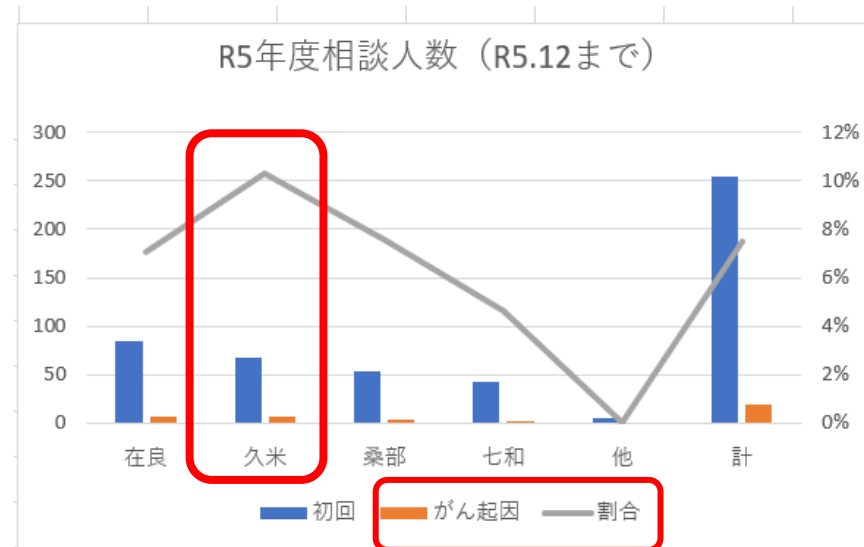
がんの
悩みが
共有で
きない



がんにな
り落ち
込む



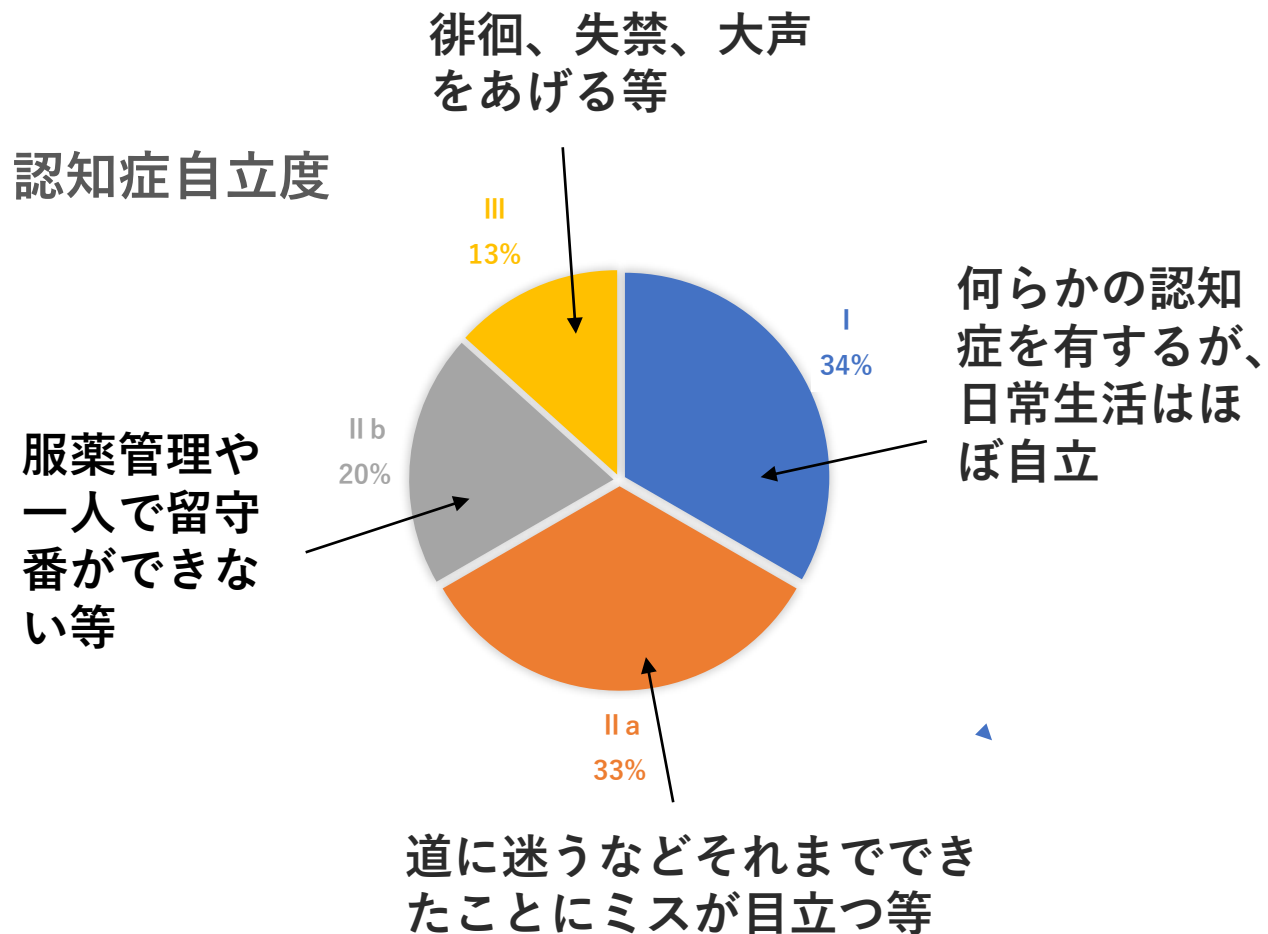
相談者の1割はがん
に関すること
特に久米地区が多い



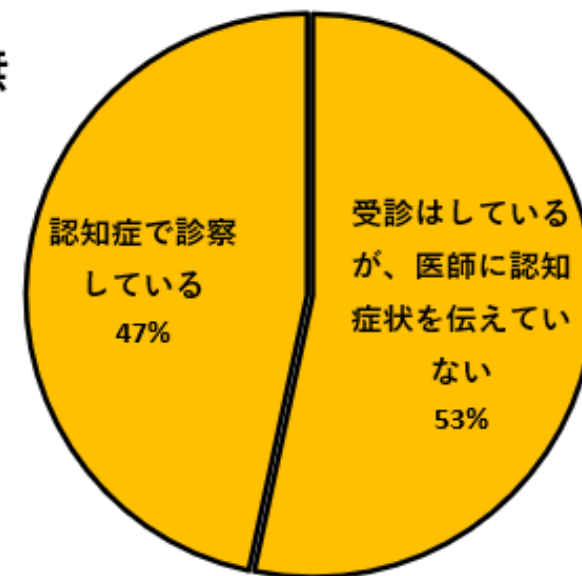
	R4年がん相談の割合
在良	10%
久米	15%
桑部	10%
七和	0%
総計	9%

	R5年がん相談の割合
在良	7%
久米	10%
桑部	8%
七和	5%
総計	7%

3.認知症は周辺症状が起きてからの相談が多い



認知症受診の有無

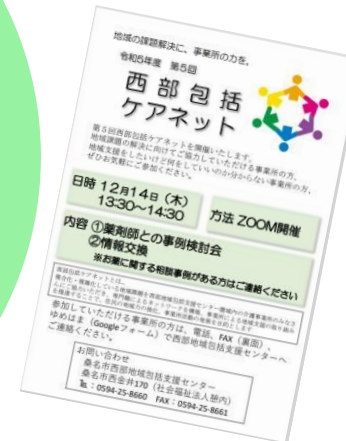
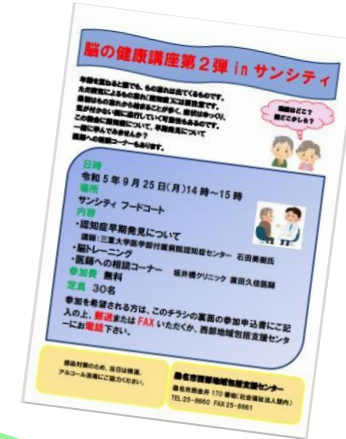


「医療連携」検討したこと

初期集中支援チーム×三重大×ニーズ調査

がん相談支援センター×まち協×ケアマネ・包括

ケアネット（圏域事業所）×薬剤師



「医療連携」行ったこと

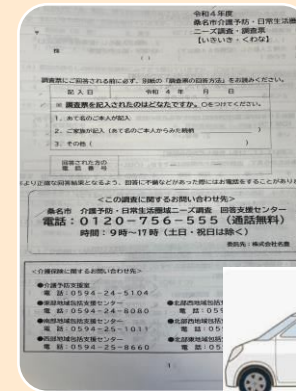
①三重大病院認知症センターと脳健康講座



三重大大学医学部附属
病院認知症センター



初期集中支援チーム
医師1名・包括3名



ニーズ調査52名訪問
参加者22名

効果
(結果)

大変良かった・良かった 80%以上

感想「相談することが重要とわかった」など

「医療連携」行ったこと

② 総合医療がん相談支援センターとがんの勉強会



桑名市総合医療センター
がん相談支援センター



久米まちづくり協議会
住民30名



包括・
ケアマネジャー 15名

効果
(結果)

大変良かった・良かった 80%以上

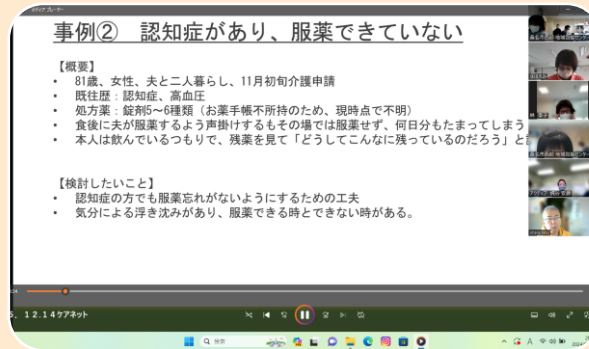
感想「健康な時こそ健診と言われ、来年は受けようと思えます」など

「医療連携」行ったこと

③ ケアネット で薬剤師と事例検討



薬剤師



ケアネット
(圏域の事業所) 8名

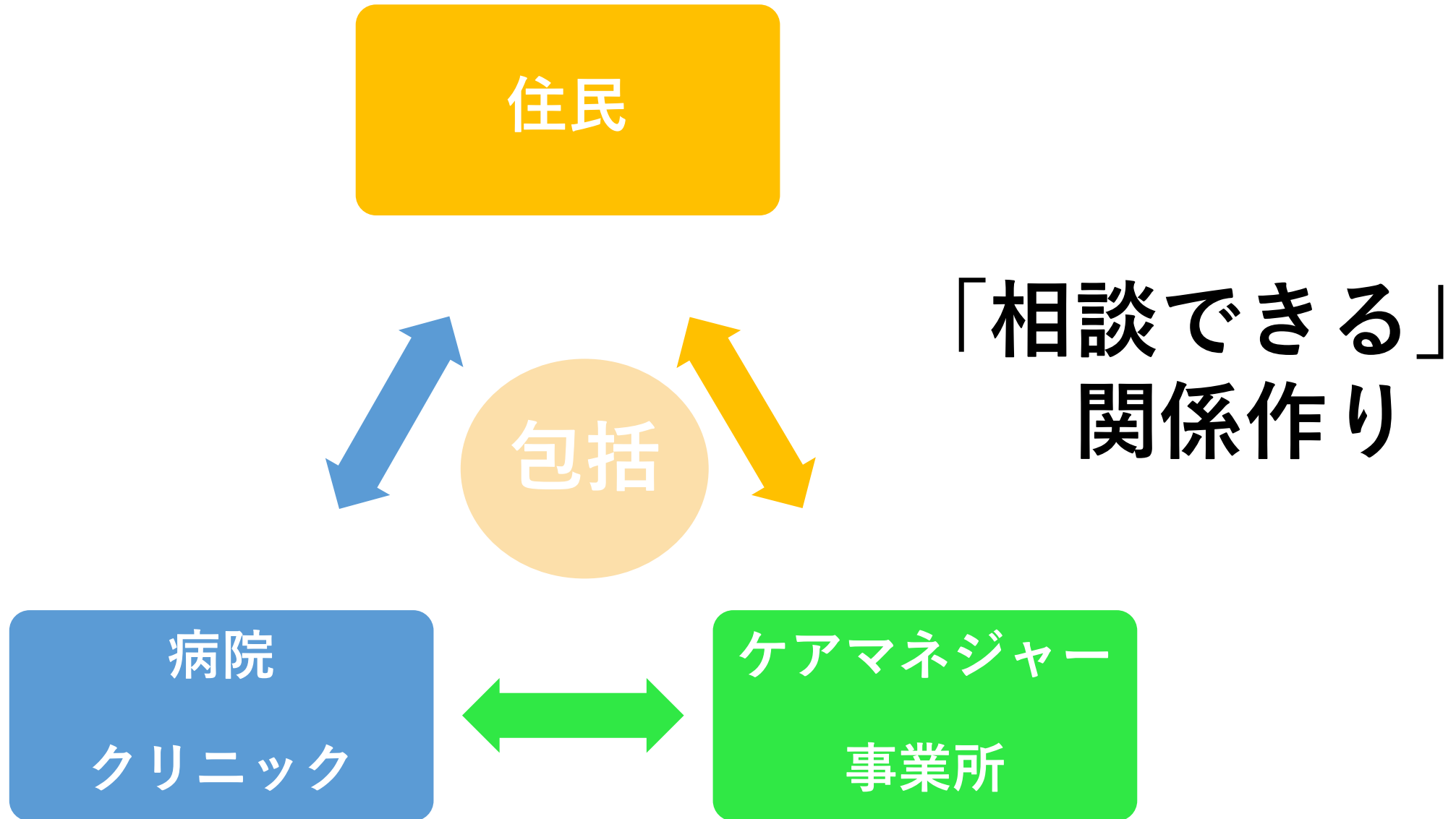


2月薬剤師×民生委員
(予定)

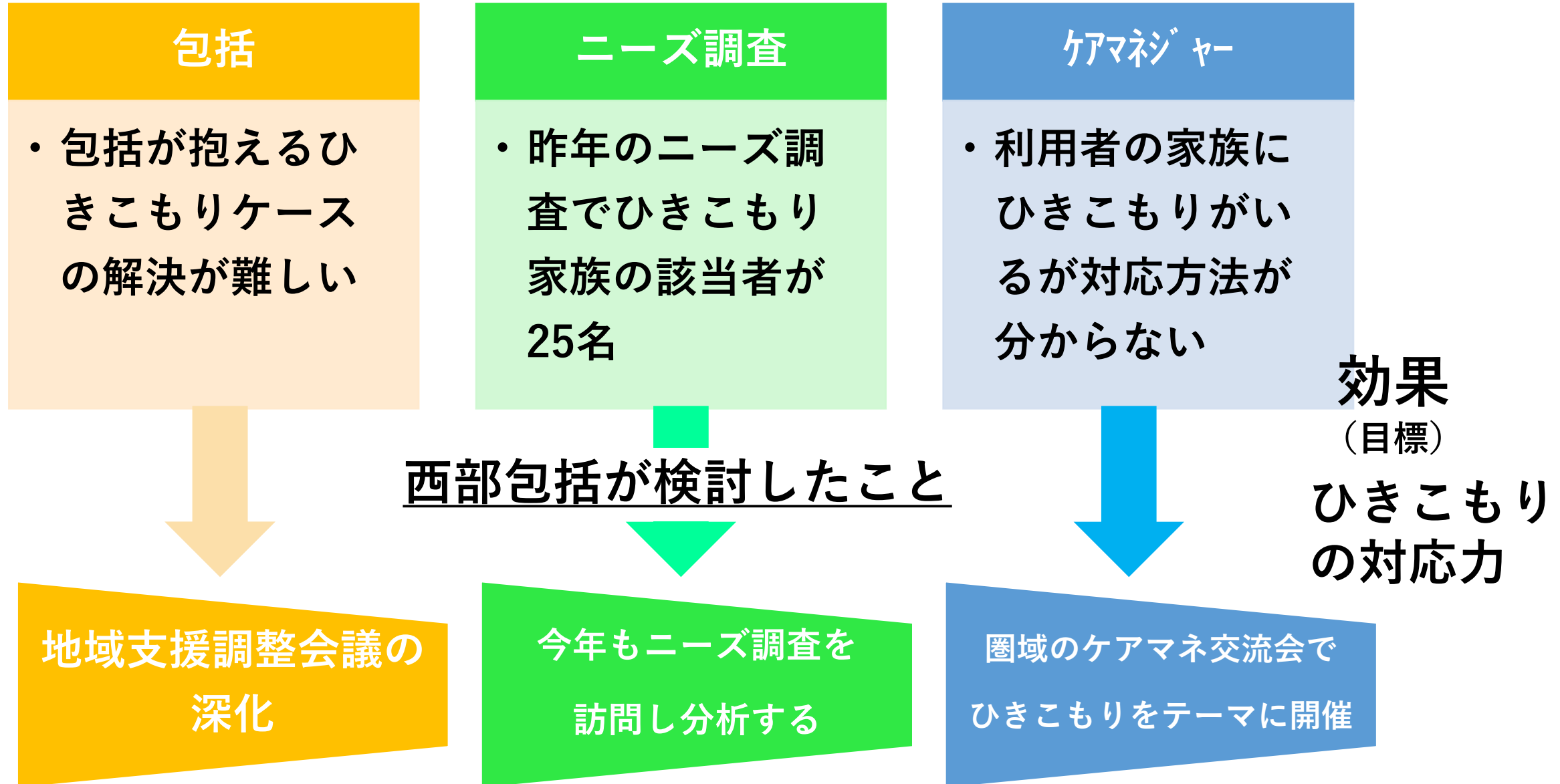
効果
(結果)

服薬に関して疑問があればかかりつけ薬剤師へ相談していき、という理解が図れた

「医療連携」これから行うこと



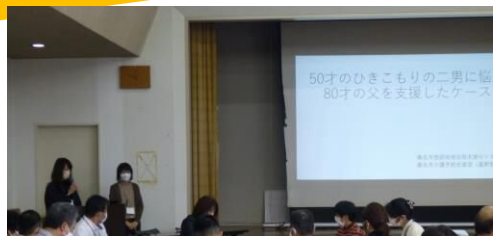
4. ひきこもり



「ひきこもり」行ったこと

何度も地域支援調整会議を開催

- ・ 家族も含めて会議を行う
- ・ ゆめはまネットで情報交換
- ・ 北勢地域ひきこもりネットワーク会議に事例提供し専門職から意見をもらう



今年もニーズ調査よりひきこもり家族を抽出し訪問

- ・ 社会福祉士と福祉支援室で該当者を訪問し、包括・福祉支援室を周知
- ・ 訪問後、該当者を分析

ひきこもり事例 6例 (2)ひきこもり概要	A	B	D	G	E	H
きっかけ	不明	不明	不明	不明	不明	不明
期間	不明	5年以上	不明	25年程	不明	10年以上前
状況	そういんに相談中	家事など出来ることはする	就職活動中	2階の自室で過ごしている。家族に対して暴言や暴力を振るうことがある	家族は市役所への相談を検討中	自閉症、障害福祉サービスを利用
受診の有無	不明	不明	不明	無	不明	不明

圏域のケアマネ交流会でひきこもりをテーマに開催

- ・ 福祉支援室に事例も含めた講話
- ・ ひきこもりの居場所等を紹介

2. ひきこもり相談窓口はどこにある？

ひきこもり相談窓口
桑名市役所 福祉支援室

受付時間
月曜～金曜日8:30～17:15 (土日祝日、年末年始を除く)

受付方法
【電話】0594-24-7440
【Eメール】soudansm@city.kuwana.lg.jp
【来所】福祉支援室(市役所1階 警備員室西隣)

支援体制

「ひきこもり」

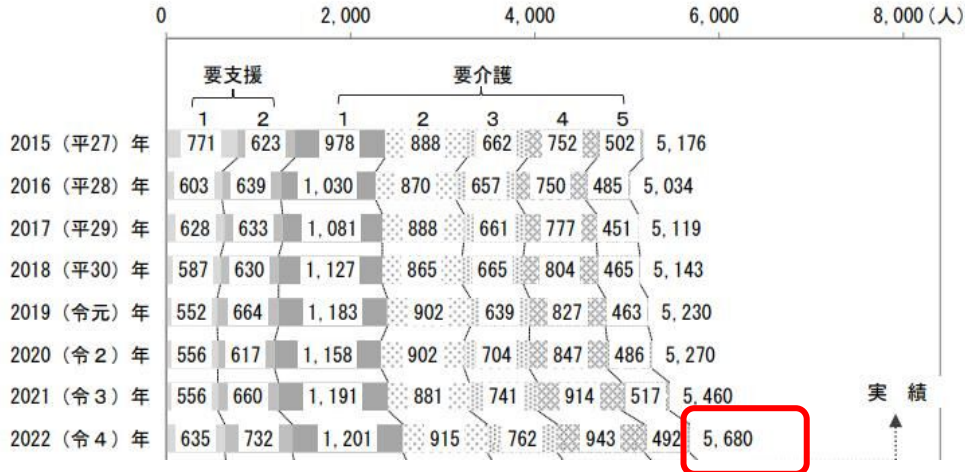
これから行うこと

- ・ 関係機関との連携
- ・ 地域住民への相談先の周知
- ・ 居場所作り等

効果
(結果)
対応力向上

5. 運動習慣

図表 2-20 認定者数の推移



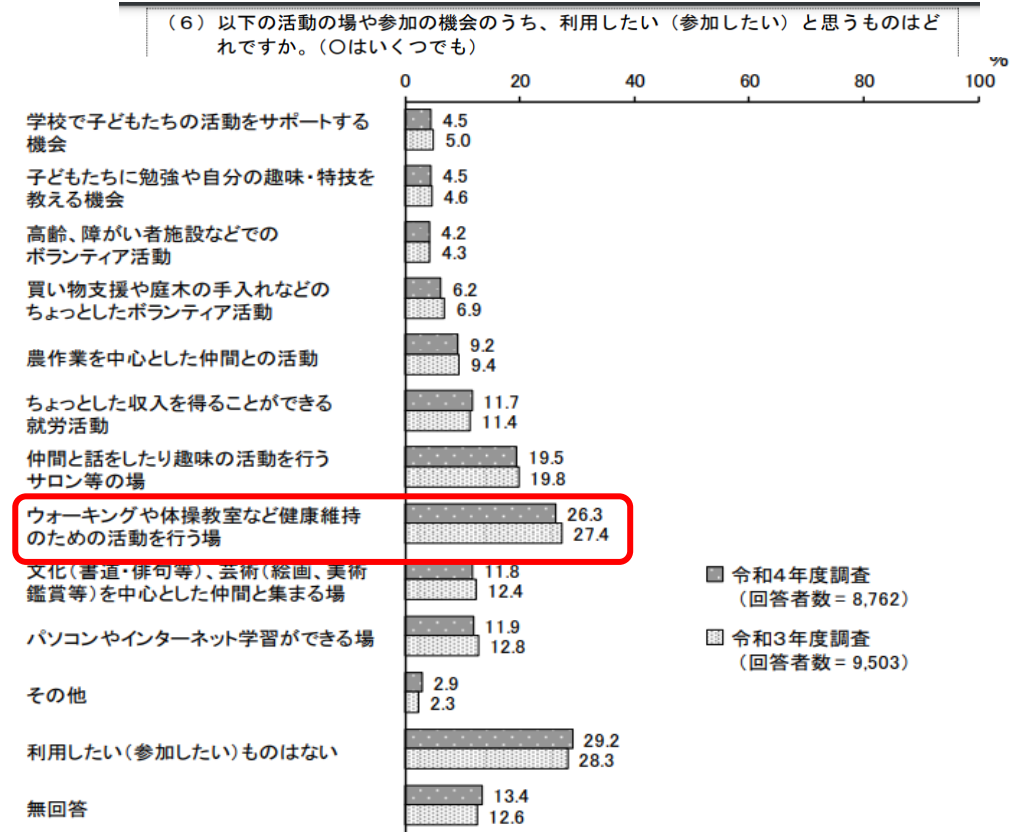
第50回「桑名市地域包括ケアシステム推進協議会総会」地域包括ケア計画資料より

介護保険の認定者数の増加

- ・ 高齢者の増加、コロナ禍の影響

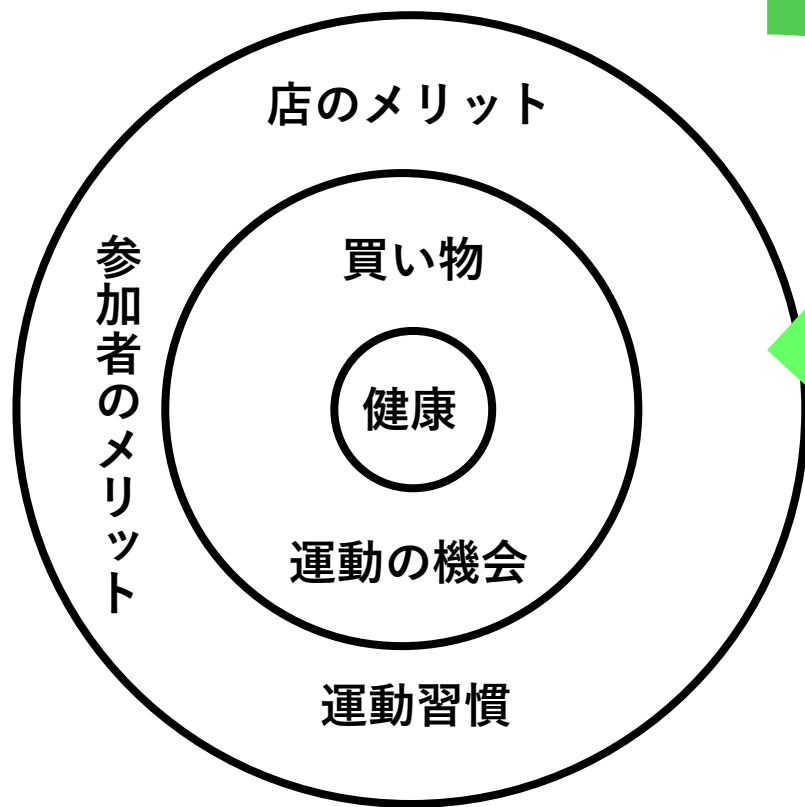
利用したい活動はウォーキング

- ・ 健康維持に関心がある



R5.3桑名市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 結果報告書

「運動習慣」検討したこと



効果
(目標)

**民間企業を
巻き込んだ
運動習慣作り**

「運動習慣 = プラス10運動」 行ったこと

企画

- ① サンシティに依頼
スタンプラリーで店内を移動 (+10分)
- ② テナントに協力してもらい景品の進呈
- ③ 健康推進員と協働「桑名すこやか体操会」実施

実施

- ① 店内測定 (+10分)、歩行距離の提示
- ② 期間令和5年8月1日～8月31日
- ③ 開催中健康推進員、健康ケアアドバイザーの講座開設

正しい歩き方で、プラス10分歩いてみませんか
プラス10運動 inサンシティ

期間 R5年8月1日(火)～31日(木)
場所 サンシティ (桑名市尾川785)

開催期間内にサンシティの店内を歩か、スタンプを集めるだけで、景品が当たるチャンスが広がります。

正しい歩き方で、プラス10分歩いてみませんか
健康と景品を手に入れますか？

※プラス10運動とは、正しい歩き方で歩くことで、歩行距離を増やし、健康を促進するための取り組みです。

桑名市西部地域包括支援センター SunCity

結果

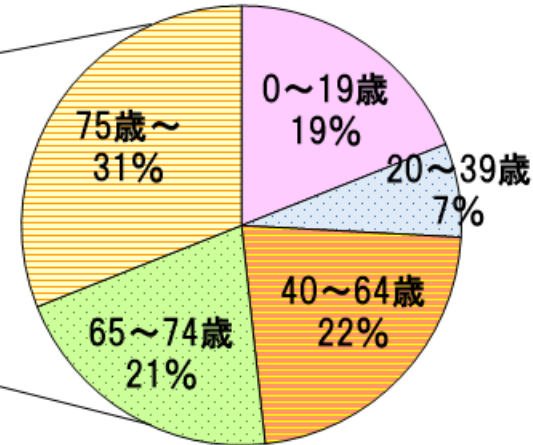
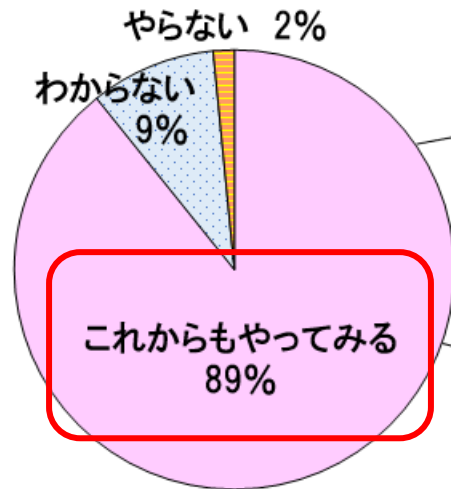
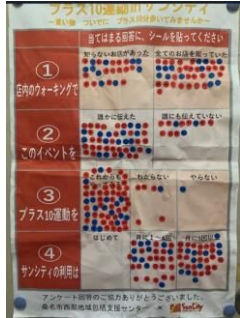
- ① 参加者 103名 (完了61名)
- ② 景品賛同店舗 7店舗
- ③ 講座2回開催し参加者75名



「運動習慣 = プラス10運動」 これから行うこと

③ これからもプラス10運動を

参加者アンケートより



効果
(結果)
**運動継続
意向89%**



体操の場

創設



民間企業と

コラボ



地域住民と

コラボ

介護予防・運動習慣の定着

6. 地域資源

地域課題抽出シート(西部圏域) 在籍 7/22集計

地域	課題	件数	割合	累計
西部圏域	高齢者	28	20%	28
	子育て	11	8%	39
	若年層	4	3%	43
	子育て	3	2%	46
	高齢者	10	7%	56
	子育て	3	2%	59
	若年層	4	3%	63
	高齢者	14	10%	77
	子育て	7	5%	84
	若年層	2	1%	86
	高齢者	0	0%	86
	子育て	2	1%	88
	若年層	0	0%	88
	高齢者	2	1%	90
	子育て	0	0%	90
東部圏域	高齢者	21	15%	111
	子育て	28	20%	139
	若年層	9	7%	148
	高齢者	2	1%	150
	子育て	2	1%	152
	若年層	10	7%	162
	高齢者	18	13%	180
	子育て	14	10%	194
	若年層	3	2%	197
	高齢者	1	1%	198
	子育て	0	0%	198
	若年層	1	1%	199
	高齢者	42	31%	241
	子育て	1	1%	242
	若年層	10	7%	252
高齢者	11	8%	263	
子育て	11	8%	274	
若年層	28	20%	302	
高齢者	11	8%	313	
子育て	18	13%	331	
若年層	0	0%	331	
高齢者	5	4%	336	
子育て	0	0%	336	
若年層	28	20%	364	
高齢者	28	20%	392	
子育て	18	13%	410	
若年層	18	13%	428	
高齢者	0	0%	428	
子育て	1	1%	429	
若年層	11	8%	440	
高齢者	0	0%	440	
子育て	14	10%	454	
若年層	12	9%	466	
高齢者	8	6%	474	
子育て	8	6%	482	
若年層	0	0%	482	

包括の要支援利用者の課題を抽出

小学校区別に課題を分析

全ての圏域で不足している資源は「地域のつながり」

西部包括が検討したこと

効果 (目標) 地域資源の見える化、創設、マッチング

西部圏域の地域課題抽出シート (要支援認定利用者対象)

「地域資源」 行ったこと



七和なかよし食堂（七和）

見える化



創設



マッチング



地区から始めるラジオ体操4か所（桑部）



能部・正和台「健康づくりの会」（桑部）



認知症マフ（住民作成→特養2か所寄贈）



移動販売3か所



地域のつながり体操（桑部）

みんなで健康づくりはじめる人か？
増田すこやかサロン
令和6年1月24日(水) スタート
時間 9:00~9:30
場所 増田集会所
内容 ラジオ体操、おしゃべり
持ち物 水分、タオル
毎月第4水曜日9:00から開催します。増田のみゆさんと一緒に、心も身体も元気になりましょう！

増田すこやかサロン（在良）

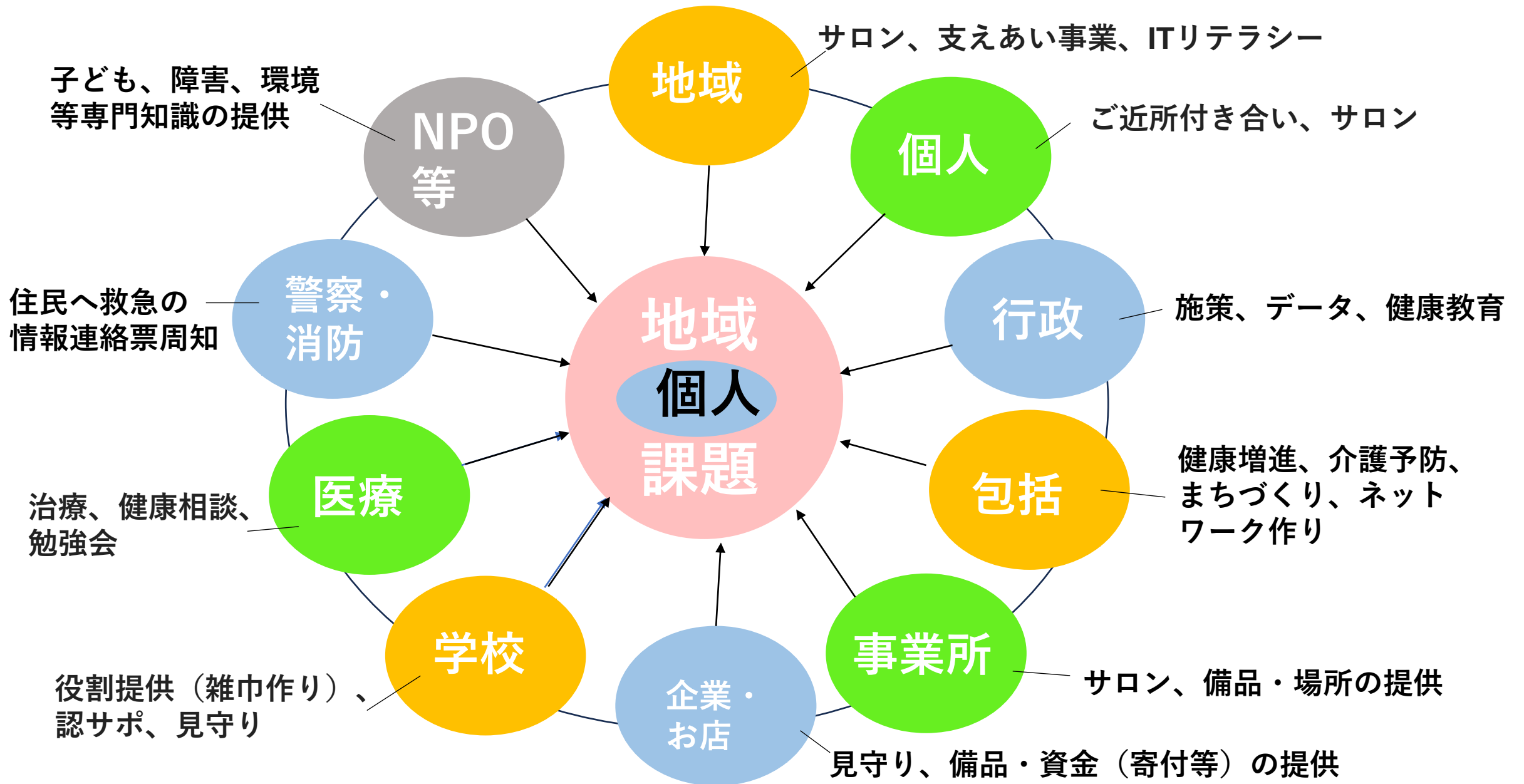
R5年度
備品貸し出し一覧表

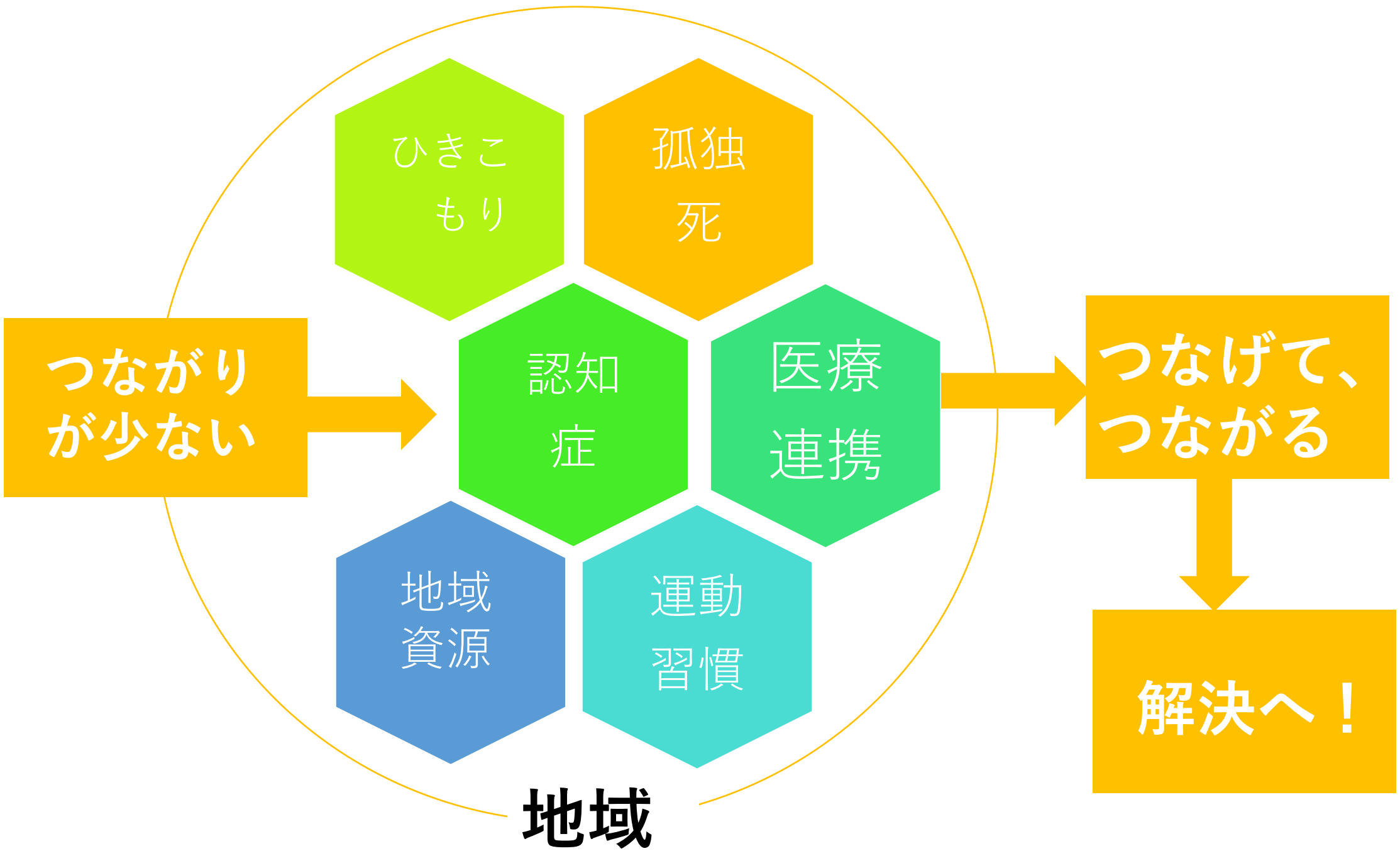
備品貸し出し一覧（事業所）

効果（結果）

資源が沢山あることが分かった

「地域資源」 これから行うこと





つながりが少ない

ひきこもり

孤独死

認知症

医療連携

地域資源

運動習慣

地域

つなげて、
つながる

解決へ!



ご清聴ありがとうございました

